

～人財・技術開発センターの紹介～

中部電気保安協会 人財・技術開発センターでは、電気設備の保守についての基礎を身に付け、正しい知識・技術をもって点検を行うことができる技術者を育成するため、日々教育・研修等を行っています。今回はその一部をご紹介します。



人財・技術開発センター 愛知県春日井市高森台4-4-52

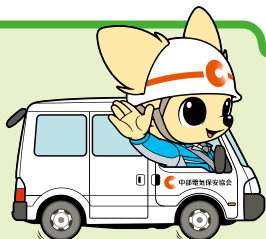
新人研修 定期入会者教育



新入会職員に対し、社会人としての心構えや組織人として必要な職務、業務に必要な基本知識、ビジネスマナーなどを早期に習得させるため、入会直後から集中的に教育を実施いたします。

特に安全に関わる知識・技能の習得には時間をかけ丁寧に教育します。

保安年次点検研修



年次点検に特化した研修カリキュラムを作成し、繰り返し実施することで、安全で質の高い点検作業が行えるよう教育します。

新人研修 定期調査導入教育



4年に1回、一般家庭を点検する定期調査に関わる法令の習得や具体的な点検作業のノウハウについて、実際の家を模した研修設備で5日間、集中的に教育します。

新人研修 竣工調査導入研修



竣工調査業務は、新築物件などの電気設備を使用する前に行う調査業務です。

新しい電気設備の設置状態を確認する業務を適切に実施するため、模擬版を用いて、より実践的な作業を繰り返し教育します。

調査指導員研修



調査部門全体の技術力向上を目的に、各事業場から選抜された調査員を対象に、指導員の任務や育成支援システムの操作など調査部と協調して指導研修を実施しています。

